

2020年6月3日

一般社団法人 LIVING TECH 協会

報道関係者各位

一般社団法人 LIVING TECH 協会 設立のお知らせ

第1弾としてスマートホームを推進

速やかな社会実装を目指し、企業会員のほかに個人会員も募集予定

この度、「人々の暮らしを、テクノロジーで豊かにする。」をミッションとして、一般社団法人 LIVING TECH 協会（本社：東京都渋谷区渋谷、代表理事：山下 智弘・古屋 美佐子、英語表記：LIVING TECH ASSOCIATION, JAPAN、以下 LIVING TECH 協会）を設立いたしましたのでご報告いたします。



LIVING TECH 協会 ロゴ

本協会は、住宅関連事業者やメーカー、流通・小売りに携わる企業が集い、設立した団体です。日々の生活において「しなければならないこと」をテクノロジーが担い、人々が「やりたいこと」に時間を費やせるようにすること、そして新たな体験価値を生み出せるようなサービスや製品を生み出すことで、豊かな暮らしを実現したいと考えております。

第1弾は、数ある暮らしの領域の中から「空間」と「スマートホーム」に絞り、Society5.0（※）の時代に向けて、課題解決と速やかな社会実装をゴールとして活動します。長期的には、暮らしにまつわる領域として「働く」「滞在する」「移動する」「体験する／学ぶ」「買う」など、段階的に分野を広げていく予定です。

またこれを加速するために、当協会は企業会員に加えて個人会員も募集する予定です。会員の声やデータを通して改善を加えることで、社会実装を進めてまいります。また、より安心してテクノロジーを活用いただくために、体制整備を行ってまいります。

2020年10月下旬にはBtoB向けのLIVING TECHカンファレンスを開催予定です。こちらの詳細は追ってお知らせいたします。

※Society5.0：内閣府発表の未来の社会の姿 https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/

▼本リリースに関するお問い合わせ

LIVING TECH 協会 広報：田形（リノベる株式会社）

TEL：03-5766-2592 E-mail: info@ltajapan.com

▼設立の背景 ～LivingTech Conference 開催から協会設立へ～

暮らしにまつわるテクノロジーを活用した新しい製品やサービスは、日本でも日夜世の中に送り出されていますが、諸外国と比較するとまだ生活に浸透しているとは言い難い状況にあります。

しかしながら、この差は企業単体で埋められるものではなく、「ジャンルの垣根を超えた企業・個人の協業を生み出したい」という思いから開催したのが、2017年に初開催した「LivingTech Conference2017」でした。「FinTech」や「不動産テック」、「シェアリングエコノミー」に関するセッションが行われ、約200人のプレイヤーが参加しました。

続いて開催した「LivingTech Conference2018」(<http://livingtech18.mystrikingly.com/>)は、規模をさらに広げ、「HomeTech」「BuildingTech」「Living Anywhere」「Work As Life」「都市経営」などを追加した13のセッションを実施。「Living」や「Technology」の領域で活躍する企業の経営者や経営幹部を中心として49名が登壇、約300人が参加しました。

そしてこの度、より継続的な活動の創出を目的として、「人々の暮らしを、テクノロジーで豊かにする。」をミッションとしたLIVING TECH協会を設立いたしました。

▼理事コメント

代表理事／山下 智弘（リノベル株式会社 代表取締役／LivingTech Conference2017-2018 主催）

「テクノロジーで暮らしを豊かにする」をキーワードに2017年、2018年と様々な領域の事業者様を集め、本協会の前身である「Living Tech カンファレンス」を実施しました。一方で、2018年、2019年のCESで先進企業に日本進出についてヒアリングをすると、多くの企業から「注力していない」との回答を受けました。日本の諸先輩方が世界を相手に築き上げてきた「日本」が崩れ始めている状況を危機と感じました。今こそ、「Living Tech カンファレンス」の活動を本格化させる必要があると考え、本協会設立に至りました。日本の有数のメーカーの皆様も、新しいチャレンジをしようと思っているスタートアップ企業も問わず、「暮らしをテクノロジーで豊かにする」というミッションに共感いただける皆様には是非、ご参画いただきたいと思います。日本の、そして世界の先進技術で、暮らしをより豊かなものにしましょう。

代表理事／古屋 美佐子（アマゾンジャパン合同会社 Amazon デバイス事業本部 オフライン営業本部 営業本部長）

政府が提唱するSociety5.0は、デジタル革新やイノベーションを活用し、経済の発展および社会的課題の解決を両立していく“人を中心に据えたデジタル・トランスフォーメーション”です。Amazonは、Society5.0のビジョンの実現のため、今後も引き続きお客様を起点にAmazon AlexaやAmazon Echoシリーズなどの

▼本リリースに関するお問い合わせ

LIVING TECH 協会 広報：田形（リノベル株式会社）

TEL：03-5766-2592 E-mail: info@ltajapan.com

テクノロジーおよびそれらを支える人材に長期的視点で投資し、スマートホームを含むデジタル・トランスフォーメーションを通し、お客様にとってより便利で豊かな生活の実現のために、微力ながら貢献していきたくと考えています。

※ Amazon.co.jp および Amazon Alexa, Amazon Echo シリーズは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

理事／宇野 雄一（シグニファイジャパン合同会社 コンシューマー事業部 事業部長）

弊社のスマート LED 照明「Philips Hue」は、まだ IoT という言葉が生まれる前の 2012 年に誕生し、「照明がもたらす豊かな暮らし」を提案して参りました。最近では IoT、スマートホームといった言葉をよく耳にしますが、どんな便利な生活になるのか、まだ浸透していないのが実情だと思います。LIVING TECH 協会では同じ志を持つ企業様と共に新たな価値を提案する場として盛り上げていきたいと思っています。

理事／木崎 大佑（株式会社 蔦屋家電 エンタープライズ 商品企画部 新規事業チーム Leader 蔦屋家電 + プロデューサー）

当協会のミッションである『人々の暮らしをテクノロジーで豊かにする』は私たち 蔦屋家電のチームが大切にしているメッセージと同様のものです。テクノロジーの進化で暮らしがアップデートされることで、さらに新しいテクノロジーが生まれより良い社会が持続していく。この流れを創ることがこれからの日本の成長を後押しする上で重要だと考えています。蔦屋家電の提案力・情報発信力を通じて実現に向け貢献していきたくと思っています。

理事／少路 政彦（パナソニック株式会社 プロフェッショナルビジネスサポート部門 デジタルマーケティング推進室 室長）

パナソニックは、家電と住宅設備をあわせ持つメーカーとして、家電の IoT 化に加えて住宅設備の領域では BIM (Building Information Modeling) を活用した住空間の IoE (Internet of Everything) を推進しています。本協会を通じて、多様な業種のテクノロジーやアイデアが融合することで、自社および同業種だけでは成し得ない新しい住空間の価値が生まれることを期待するとともに、日本の豊かな暮らし・社会の実現に貢献して参ります。

理事／武井 浩三（株式会社 eumo 取締役 CJO 兼（一社）不動産テック協会 発起人/理事）

国土交通省が発表した不動産業ビジョン 2030 に描かれている未来像は 2 つ。「コンパクトシティ」と「ネットワークシティ」。自律分散化したオフグリッドな都市づくりは、テクノロジーの発展と普及無しには語

▼本リリースに関するお問い合わせ

LIVING TECH 協会 広報：田形（リノベる株式会社）

TEL：03-5766-2592 E-mail: info@ltajapan.com

れません。当協会は、一般生活へのテクノロジーの普及に対して、大きな社会的役割を担います。各業界のリーダー達と共に、より良い社会像に向けて邁進できることが心から楽しみです。

理事／東 克紀（YKK AP 株式会社 事業開発部 部長）

普段から我々の生活の中に存在する窓やドアは建物の内と外をつなぐコンタクトポイントであり、生活の中でも必ず接しているもの。そのような接点の多いものだからこそ、新しいテクノロジーを組み合わせることで、もっと可能性が広がり生活が豊かになるのではないのでしょうか。窓やドアなどアナログな建材とデジタルの融合による新しい住空間の創造と可能性の追求、それを具現化するのがこの LIVING TECH 協会における異業種連携の活動だと考えています。

理事／山田 毅（アイロボットジャパン合同会社 マーケティング本部 本部長）

ネットワークやソフトウェアの進化が人々の生活を豊かにしていく時代になってきました。アイロボットの製品も物理的な機能の進化だけでなく、ソフトウェアがもたらす“顧客体験の進化”を目指し、お客様の生活がいかに快適に、豊かになるかを中心に考えスマートホームの実現を目指しております。欧米ではスマートホームはすでに定着しており、もはや未来のものではありません。LIVING TECH 協会の活動を通して日本においてもいち早くスマートホームが定着し、日本の豊かな生活の実現に向けた一役を担いたいと考えております。

監事／成本 治男（TMI 総合法律事務所 パートナー 弁護士）

「テクノロジー」も、「法律」と同じく、「豊かな暮らし」を実現するための道具に過ぎません。これらの道具は、現在の課題や将来あるべき姿を見据えて創り出されたり改善を行っていくことで、本当に使いやすいものになるのだと思います。そのためには多くの事業者と消費者が相互に協力や対話をするのがとても重要だと感じています。本協会がそのような協力や対話の「場」となり、また発展拡大の「エンジン」となることができるよう、微力ながら貢献できればと考えております。

▼概要

名称：一般社団法人 LIVING TECH 協会

所在地：東京都渋谷区渋谷 3-10-13 TOKYU REIT 渋谷 R ビル

設立：2020 年 4 月 28 日

公式 HP：<https://www.ltajapan.com/>

▼本リリースに関するお問い合わせ

LIVING TECH 協会 広報：田形（リノベる株式会社）

TEL：03-5766-2592 E-mail: info@ltajapan.com

役員：

代表理事：山下 智弘（リノベル株式会社 代表取締役／LivingTech Conference2017-2018 主催）

代表理事：古屋 美佐子（アマゾンジャパン合同会社 Amazon デバイス事業本部 オフライン営業本部 営業本部長）

理事：宇野 雄一（シグニファイジャパン合同会社 コンシューマー事業部 事業部長）

理事：木崎 大佑（株式会社蔦屋家電エンタープライズ 商品企画部 新規事業チーム Leader 蔦屋家電+プロデューサー）

理事：少路 政彦（パナソニック株式会社 プロフェッショナルビジネスサポート部門 デジタルマーケティング推進室 室長）

理事：武井 浩三（株式会社 eumo CJO 兼（一社）不動産テック協会 発起人/理事）

理事：東 克紀（YKK AP 株式会社 事業開発部 部長）

理事：山田 毅（アイロボットジャパン合同会社 マーケティング本部 本部長）

監事：成木 治男（TMI 総合法律事務所 パートナー 弁護士）

▼Mission/Vision/Value

Mission

人々の暮らしを、テクノロジーで豊かにする。

Vision

テクノロジーで暮らしの豊かさの実現と社会課題の解決を両立し、すべての人々が快適で生き活きと暮らせる社会を創る。

Value

分野横断的な連携を図り、Try & Error を恐れずにスピード感をもって課題解決のアクションを起こすユーザーとともにトライアルし、テクノロジーを社会実装することで Society5.0 の実現に貢献するネットワークを構築する

誰もがテクノロジーによって便利で快適な暮らしを手に入れることができる環境を整備する

▼今後の主な活動内容

1. リビングテック関連事業者の環境整備
 - a. LIVING TECH EXPO 開催（2020 年秋開催予定）
 - b. 企業会員向け MeetUp の開催
 - c. 既存産業・公的サービスとの連携

▼本リリースに関するお問い合わせ

LIVING TECH 協会 広報：田形（リノベル株式会社）

TEL：03-5766-2592 E-mail: info@ltajapan.com

2. リビングテック関連サービスの適正な利用促進
 - a. 個人および法人会員による、サービス利用トライアルプログラム
3. リビングテックに関わる情報収集や発信
 - a. LIVING TECH に関連するデータや、新しいテクノロジー等の取り組みの定期的なレポートを発信
4. 海外団体との接点
 - a. 海外 LIVING TECH 関連団体、企業との接点作り、連携による業界振興

▼本リリースに関するお問い合わせ

LIVING TECH 協会 広報：田形（リノベル株式会社）

TEL：03-5766-2592 E-mail: info@ltajapan.com